

ジョブシャドウイング

概要と特徴

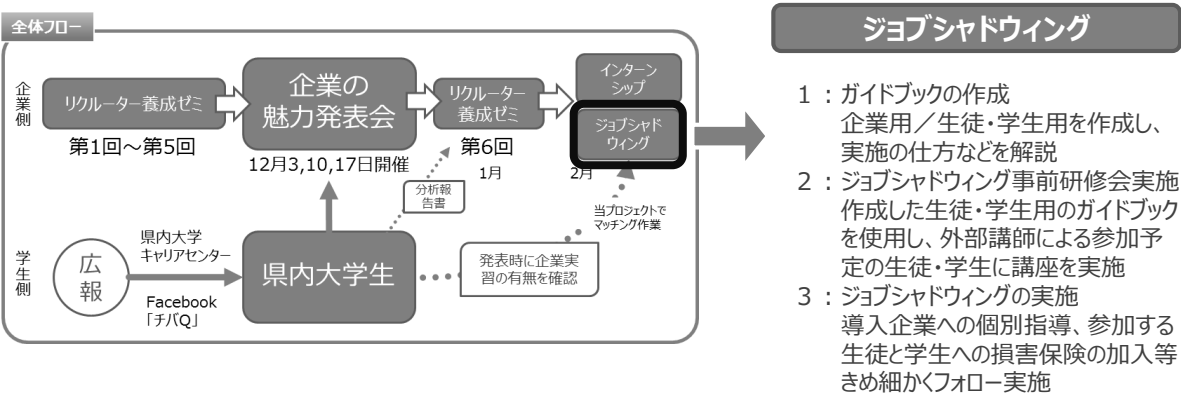
生徒や学生がインターンシップに参加し、企業で十分な体験を重ね、魅力や素晴らしさを自らの体験を通して習得し、職業選択に対して影響を及ぼすには2週間から1か月の実習期間が必要である。しかし中小企業にとって、インターンシップを行い、新卒者に対して様々な情報を提供することは大きな負担となる。そのためインターンシップの実施に踏み出せなかったり、プログラム企画に十分な内容が盛り込まれていない、というのが現状である。それ故、一部の企業では「1日型（ワンディ）インターンシップ」が行われているが、教育機関の就職支援者側からは「参加する意味がない、職業を理解するに至らない」と批判が出てしまっている。その解決策として、当プロジェクトでは、「ジョブシャドウイング」という手法を提案し、県内中小企業に普及させたいと考えた。

※ジョブシャドウイングとは

ジョブシャドウイングは、半日～1日間、「働いている人（ジョブ）」に就職予定の生徒・学生が「影（シャドウ）」のように付き添い、仕事の内容や職場の様子などを逐一観察する職業体験の手法。インターンシップとの違いは、長期間仕事を体験させるのではなく、短期間に働いている人をひたすら「観察」し、リアリティを伴ってその職業を実感させることにある。ひたすら目まぐるしい日常業務を観察させることがポイントである。
* 全米では職業体験学習方法として1997年に全米ジョブシャドウ連盟が設立され、現在では毎年2月2日を「グラウンドホッグディ」とし、一斉に実施されている。

種類	期間	実施内容
ジョブシャドウイング	半日～1日間	「働いている人（ジョブ）」に「影（シャドウ）」のように付き添い、仕事の内容や職場の様子などを逐一観察する
職業体験会	半日～1日間	会社の様々な仕事を順番に見ていく
インターンシップ	3日程度から1か月間	仕事を実際にやってみる（体験する）

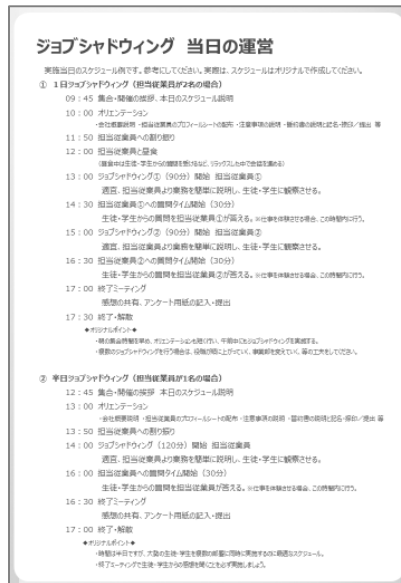
当プロジェクトでは、リクルーター養成ゼミ→企業の魅力発表会→ジョブシャドウイングとつなげ、単体での実施ではなく、一連の流れ（①「伝えられる」ようにする②「発見できる」ようにする③「興味を示す」ようにする）での成果として実施した。ジョブシャドウイングの中にも3つのパートがあり、今後の県内中小企業での自立実施を目的としてジョブシャドウイング全体を立案した。



□ジョブシャドウイング・ガイドブックの作成

県内の中小企業の魅力発信の一助となるべく、今後の自立実施を考慮し、ジョブシャドウイングの実施方法をわかりやすく、ガイドブックにまとめた。

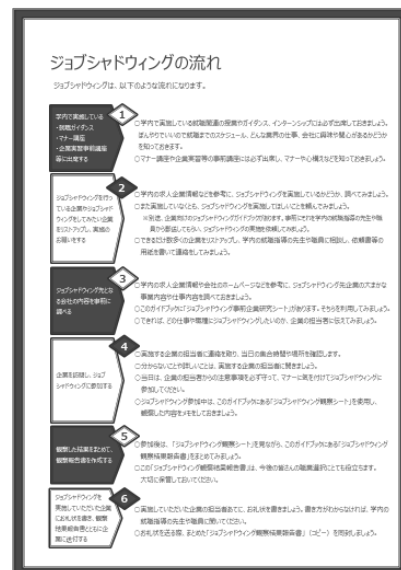
「企業向け」



(様式) 参加生徒・学生への連絡事項 見本	
姓 年 月 日 ()	
ジョブシャドウイング 連絡事項 見本	
フリガナ	
社名	
所在地	(字 ー) 番町
URL	
コーディネーター名	フリガナ 姓 名
コーディネーターの連絡先	TEL/ 携帯番号/
休職日	年 月 日 ()
集合時刻	終了予定時刻
解散時刻	
解散	
当日の担当従業員	(姓 名 姓 名)
	(姓 名 姓 名)
	(姓 名 姓 名)
タイムスケジュール	
昼食について	
その他記載事項 (注意事項、その他注意、等)	

ガイドブックは、全8ページで、具体的な当日の運営の仕方やスタッフの役割などを説明。参加する生徒・学生への連絡事項シートや誓約書のフォーマットなども付属している。

「生徒・学生向け」



※コピーして使用して下さい

ジョブシャドウイング観覧シート

体験日 年 月 日

参加企業名 シャドウイング観覧先 シャドウイング先従業員（御姓・名）

観覧した主な業務内容

シャドウイング先従業員の観覧内容 ※表書きの動詞、行動、語尾に半角カナ、番号等に観覧し、記入をお願いします。

観覧時間～（ ）分後	内容・時間
（ ）分後～（ ）分後	内容・時間
（ ）分後～（ ）分後	内容・時間
（ ）分後～（ ）分後	内容・時間
（ ）分後～（ ）分後	内容・時間
（ ）分後～（ ）分後	内容・時間

終了後の感想 ※ジョブシャドウイングの観覧では、どんな気づきがあったか、など？

ガイドブックは、全8ページで、事前準備の方法や企業への依頼の仕方、注意事項、また事前に行う企業研究シート、当日使用する観察シート、参加後に記入する観察結果報告書も付属し、生徒・学生が独自にジョブシャドウイングが実施できる内容として作成した。

□ジョブシャドウイング事前研修会

12月の「企業の魅力発表会」に参加し、ジョブシャドウイングを希望した生徒・学生に、2月10日（金）ジョブシャドウイング事前研修会を実施。「自分にあった企業の探し方」をテーマに、ジョブシャドウイングの目的・企業分析・働くうえでの自分の価値観・アクティブリスニング（積極的傾聴）等、グループワークを含め研修を行った。

本日のセミナーはいかがでしたか？

大変満足	81.8%
少し満足	18.2%
どちらでもない	0.0%
少し不満	0.0%
非常に不満	0.0%

アンケートコメント

・他ではない体験ですので、志高く取り組みたいです。
・やるからには前向きに取り組むときめている。
・楽しみになってきたからです。
・わからない事は納得の行くまで聞いた方が、今後の就職活動への不安が残らないと思うため。
・担当者にやりがいがある態度をあらわすことです。
・今日身に付けたことを活かしたい。
・常に主体的に取り組みたいです。
・自身も積極的に聞いていきたい、それは疑問に思ったこと、こう思った事に問わず聞いていきたい
・話し方がどうしたら良いか分からなかったので参考になりました。
・企業側の説明では、分からないところはありますし、1日のみなので、学生側から、働いてからでは聞けない質問、やることなどをきけたらと思います。
・12月に行われた説明会での復習がもう一度でき、就職活動への意識が高まりました。

ジョブシャドウイング当日に前向きに取り組みたいと思いましたか？

大変そう思う	81.8%
少しそう思う	0.0%
どちらでもない	9.1%
あまり思わない	9.1%
全く思わない	0.0%



学生インタビュー

和洋女子大学 3年生／株式会社美光商會にジョブシャドウイング予定

●本日の事前研修会で印象に残ったことは何ですか？
自己紹介をする上での印象を残すこと、その場に合わせて話の引きだしを使い会話ができるようにすることです。

●この事前研修会で役立ちそうなことはなんですか？

3C分析は、顧客、企業の強みを知ること、それにあった会社を見つけ、無理なく働くことができると思いました。モチベーションリソースは、会社の雰囲気、前提にしていることを理解でき、仕事に取り組むことができると、気持ちの切り替えができると思いました。コミュニケーションについては、今回の事前研修会で学べたのは、会話が一方通行とならないようになるのもそうですが、相手とのコミュニケーションを沢山でき、ニーズを引き出すことで適切な対応ができるようになったと感じました。

●いよいよジョブシャドウイングを行います、いまの気持ちをお聞かせください。

12月の企業側の説明では、分からないところはありますし、1日の観察のみなので、学生側から、働いてからでは聞けない質問、実際に仕事としてやること等をきけたらと思います。企業側がどんな人材を求めているか、それが会社の取引先のお客様に関わることで、自分がどうあるべきか、会社でどう働いていくか、ジョブシャドウイングの体験によって考えることができそうです。企業と自分自身がお互いに、自然とやっていける環境を探すきっかけとなることに期待します。お客様も企業も自分も、無理のない関係を築くためには、しっかりと企業研究をすることが大事だと思えました。ジョブシャドウイングは、会社の視点がわかる良い機会であり、会社研究も深まりやすくなると思います。

□ジョブシャドウイングの実施

～参加募集方法～

12月に実施した「企業の魅力発表会」において、生徒・学生からジョブシャドウイングの参加を募った。なお、企業のジョブシャドウイング実施日等のスケジュールに関しては、学生の都合を企業側があわせる形式にした。結果として、以下のような実施予定社数、参加予定数となった。

- ◆リクルーター養成ゼミ参加企業数：42社
- ◆企業の魅力発表会参加企業数：33社
- ◆ジョブシャドウイング実施企業数：6社
- ◆ジョブシャドウイング参加学生数：11名

参加募集の流れ

- ①リクルーター養成ゼミの講座でジョブシャドウイングを説明。企業側に導入を要請した。
- ②企業の魅力発表会での発表を聞いたのち、学生側は、評価シートの設問のうち、Q7で発表企業のジョブシャドウイング参加希望の有無をスマホで入力。後日、参加希望を確認する形式をとった。

企業側への説明スライド

ジョブシャドウイング（1日職業体験）について

○ジョブシャドウイングとは

企業などで働いている社会人に密着して行動を共にし、その仕事ぶりや職場の雰囲気等を「観察」する体験学習です。職場見えない仕事の実態や、人が働くということの「現実」を理解できます。社会人を間近で見ることは、「職業」や「将来」について考える貴重な機会になります。

○ジョブシャドウイングとインターンシップの違い

	内容	期間	特徴
ジョブシャドウイング	働く人の姿となって観察をする	【短縮】 数時間～数日	対応できる職種・業種が幅広い ・【受入側】事前準備や後導の手間・時間が不要
インターンシップ	企業や事業所等で実習体験をする	【長期】 1日～数カ月	・実体験に基づいて仕事の内容を理解したり、働く喜びや苦労を体感することができる

○申込の流れ

企業の魅力発表会

2017年2月10日

2017年2月中旬～下旬

2017年2月末ごろ

評価シートQ7で「はい」にチェック

ジョブシャドウイング事前セミナー参加

体験当日各自企業訪問

体験報告提出

【連絡先】
千葉県商工会連合会 中小企業人材採用サポートグループ 担当：千葉（せんが） TEL：043-222-8170 E-mail: chiba-12@cfccl.or.jp

水島常務について行く！(ジョブシャドウイング)

2月のジョブシャドウイングにて、弊社の雰囲気を体感ください♪

Q7を入力

『企業の魅力発表会』評価シート

プレゼン企業コード 記入欄	企業コードをここに記入 ※各企業ごとに異なる			
Q1. 少しも聞いて、まだ疑問点があると感じる点はあるか？ その理由を記入してください。				
1. 疑問点がある	2. 少しある	3. ほぼない	4. 疑問点はない	5. 全くない
Q2. 少しも聞いて、ほぼ疑問点がないと感じる点はあるか？ その理由を記入してください。				
Q3. ご自身で希望する会社(仕事) に対しては、その会社で働く希望があるか？ 理由を記入してください。				
Q4. ご自身の希望する会社(仕事) に対しては、その会社で働く希望があるか？ 理由を記入してください。				
Q5. ご自身の希望する会社(仕事) に対しては、その会社で働く希望があるか？ 理由を記入してください。				
Q6. 実際に就職活動期間が過ぎた後に、応募してみたいと思ったか？ その理由を記入してください。				
Q7. この企業が、企業実習（1日職業体験もしくはインターンシップ）を実施すると告知した場合、参加したいですか？				
1. はい、参加したい 2. いいえ				
Q8. 「企業実習（1日職業体験もしくはインターンシップ）」を実施する企業があるか？				
1. はい、参加したい 2. いいえ				

コードを記入

コード表

本日のプレゼンテーション企業 コード一覧

プレゼン企業	企業コード
株式会社〇〇〇〇	01
株式会社〇〇〇〇	02
株式会社〇〇〇〇	03
株式会社〇〇〇〇	04
株式会社〇〇〇〇	05
株式会社〇〇〇〇	06
株式会社〇〇〇〇	07
株式会社〇〇〇〇	08
株式会社〇〇〇〇	09
株式会社〇〇〇〇	10

記入者コード

名前・連絡先等を記入

※退会時に必ず事務局に提出してください。取得した情報は、「企業の魅力発表会」に関する以外では、使用いたしません。

一社団法人 千葉県商工会連合会

【回答をお願いします】

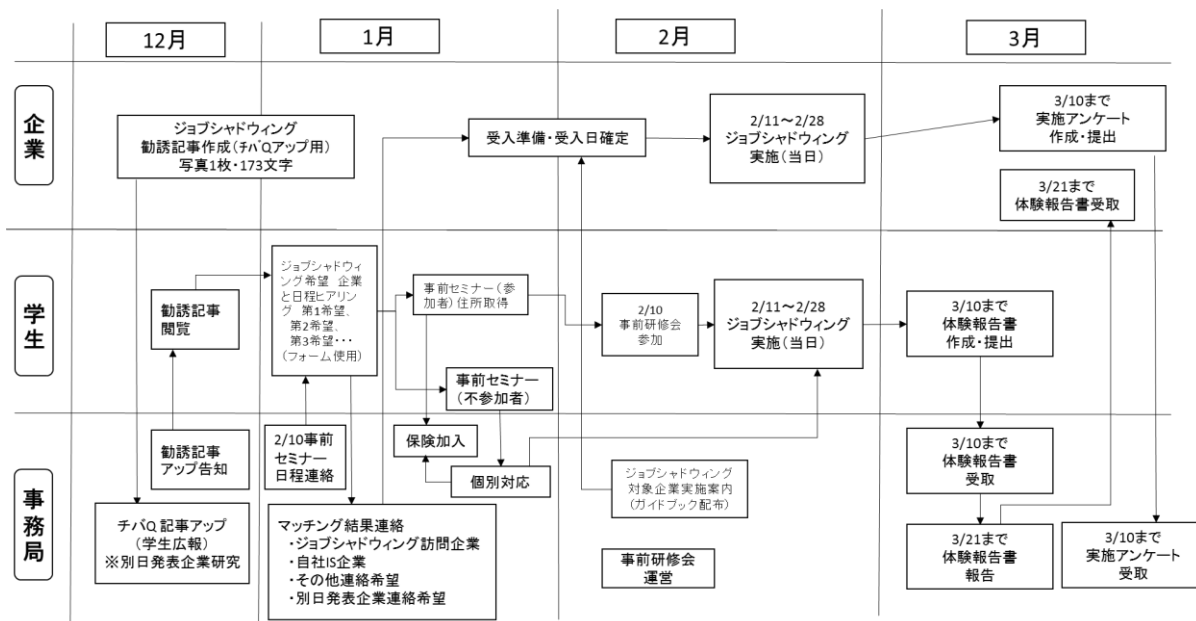
本日の発表企業以外で、ジョブシャドウイング又はインターンシップ参加企業の情報希望しますか？

1. はい 一別添付欄にご連絡致します

2. いいえ

～フロー図～

ジョブシャドウイング実施に向けては、実施から報告書提出までを以下のフローで行った。



《ジョブシャドウイング実施までの流れ》

- ◆ 12月：①ジョブシャドウイング参加勧誘記事を企業ごとに写真等を使ってアピールし「チバQ」へ投稿した。
- ◆ 1月：①ジョブシャドウイング・ガイドブックをリクルーター養成ゼミ第6回実施の際、配布した。
 - ②学生にジョブシャドウイング参加希望企業（第1～3希望）をwebフォームを使用し確認。
 - ③その結果をもとに実施予定企業とマッチングを行った。
 - ④ジョブシャドウイング事前研修会実施も同時に告知し、参加を必須とした。
 - ⑤参加生徒・学生を対象に、傷害総合保険（損害保険ジャパン日本興亜株式会社）に加入。
* 本来、企業側が参加学生に対し傷害保険加入（任意）を行う。
- ◆ 2月：①ジョブシャドウイング事前研修会実施。
 - ②2月10日の研修会に不参加の生徒・学生には、別途事務局で個別説明を行った。
 - ③実施予定企業よりジョブシャドウイング実施計画案を提出してもらい、内容をチェック。
 - ④必ずジョブシャドウイング実施企業の担当者より、参加する生徒・学生に電話をしてもらうよう依頼。
 - ⑤13～27日：各企業でジョブシャドウイング実施
 - ⑥終了後、生徒・学生より観察結果報告書提出
- ◆ 3月：①観察結果報告書を企業へ報告
 - ②企業よりメールにて実施の感想等を提出

ジョブシャドウイング実施企業の担当者、ジョブシャドウイングに参加する生徒・学生に対し、密接なフォローを実施。

●ジョブシャドウイングを実施する企業からの実施計画案の例

実施計画案を下記の内容で、実施企業より共有を受け、当プロジェクトにてチェックした。ほぼガイドブックに記載されている内容に準じており、大きな変更もなくチェックを終えている。※下記は実施企業からのメールを引用

A社（商社）

☐ 1日先輩に『影のように付き添う』ことで、仕事のリアルを理解する⇒興味関心を高め、応募・採用につなげる。

※これまでの同行よりも、より『（学生側からの）仕事の観察』に重点を置いて行います。

☐ 学生からの要望：実際のお客様とのやり取りを見たい（モニタリング）

：職種として視野に入れている事務職の様子を見たい（コールセンター）

☐ シャドウイングに協力する社員

2名（Hさん／Iさん）

☐ 予定

9:00 本社集合＆オリエンテーション、企業概要説明、コーディネーター＆担当者紹介 学生の誓約書回収（採用担当）

9:30 モニタ同行開始（Hさん）

お昼休憩 ※食事支給

16:00 帰社・コールセンター同行開始（Iさん）

17:00 振り返り アンケート記入（応募の希望、興味関心度が向上したかの確認）

17:30 終了予定

B社（小売業）

13:00～ 集合・開催の挨拶 本日のスケジュール説明(10分程)

13:10～ オリエンテーション(40分程)

13:50～ 常務よりご挨拶(10分程)

14:00～ 営業企画室(6名)の会議へご出席(30分程)

14:30～ 店舗内ミステリーツアー(30分程)

15:00～ 稲毛店副店長とジョブシャドウイング(60分程)

16:00～ 担当従業員へ質問タイム・1日を通して質問タイム(15分程)

16:15～ 終了ミーティング(15分程)

16:30 終了・解散

C社（遊技場経営）

・オリエンテーション

・本部事業 ジョブシャドウイング

・昼食 弊社飲食店利用

・会議（遊技事業、飲食事業） ジョブシャドウイング

・遊技事業 ジョブシャドウイング

・飲食事業 ジョブシャドウイング

・振り返り

・夕食（可能であれば） 弊社飲食店利用

実施内容

平成29年2月27日（月） 株式会社スカイカーゴビジネス



ジョブシャドウイング場所
の倉庫に移動



貨物の取り扱いを
ジョブシャドウイング



実際の貨物に触れてみる

参加した学生の感想

終了後の感想 ※ジョブシャドウイングの前と後では、どんな気づきがあったでしょうか？

前情報でこういう仕事をしている位は知っていましたが、実際に貨物が届いた時からどんな手順で作業を行うかを知りました。フォークリフトを軽々と扱う姿に魅了され、更に外国人研修生の受け入れやシルバー人材を使った発泡スチロールのリサイクル等社会貢献も積極的に行う素晴らしい会社でした。

平成29年2月27日（月） 株式会社シルバートップ



開始前のミーティング



ジョブシャドウイング①



ジョブシャドウイング②

参加した学生の感想

今回のジョブシャドウイングを通して、今後の自分自身の学習や就職活動にどのように役立てたいと思いますか？

ジョブシャドウイングを通して働くことは楽しいのかもしれないと思うようになりました。働くというあまり良いイメージが無かったのですが、実際に働いている人を見ると「すごいな」と感じ、私もこういう風になりたいと思いました。就職活動では、自分がどうしたいかということも大切にしてやる前から決めつけずに頑張っていきたいと思います。

平成29年2月20日（月） 株式会社美光商会



使用済み携帯電話の
粉碎作業を体験



常務出席の社内会議に
ジョブシャドウイング



副店長の業務に
ジョブシャドウイング

参加した学生の感想

何に配属してあげても士気はいいのかな、とか思われてる人達やその目や言葉から、と見て、どう思われているのか、社風や雰囲気を見るにはとても良いと感じました。
理想と現実の違いは、これだけ現実性に基づいて行動できているのか見といて「まだ」たがも感じました。

平成29年2月17日（金） 空港協力事業株式会社



ジョブシャドウイング中、熱心
にメモを取る参加学生



社員食堂で昼食



ジョブシャドウイング中の
注意事項をレクチャー

参加した学生の感想

終了後の感想 ※ジョブシャドウイングの前と後では、どんな気づきがあったでしょうか？
イメージしやすい仕事です、この仕事があることを今回初めて知りました。「貨物」というものに、それだけの人数がパソコンで資料作成したり、見積りを作ったりしているのを見て、言葉が出ませんでした。

終了後の感想 ※ジョブシャドウイングの前と後では、どんな気づきがあったでしょうか？
色々見てみる前は、荷物の取り扱いを簡単な作業だと思っていたが、月動大な数の重い荷物を飛行機との離陸時間までに正確で迅速にやり遂げることは簡単ではないと気づかされた。実際の現場を見ることができたのは、この仕事はチームワークが大切だったという事、働いている人達の責任感を持って働いている等でした。

成果と課題

ジョブシャドウイングという手法は、まだ日本ではあまり浸透はしていない。「ただ観察するだけ」「低学年の職場見学モデル」と思われがちのためである。しかし、学生にとって実際の現場を間近に観察する機会は少なく、このジョブシャドウイングは「仕事のリアル」を感じ取るには最良の方法である。今回の実施でも明らかなように、学生はリアリティを感じると仕事に対して予想以上の気づきを獲得し、学習を始める。作成したガイドブックを企業と学生が活用すれば、より多くの学生が県内中小企業の魅力に気づくことは間違いないと思われる。

一方で、本格的なインターンシップは、仕事のリアルを感じるに十分な手法であるが、中小企業の導入において課題が多いのも事実である。導入をするために短期インターンシップ、1日インターンシップを立案し、実施している企業も多いが、プログラム内容としては、期間の短さから「当社の仕事はこうだ」と作られた環境をみせる会社説明会形式になりがちである。

短期インターンシップより効果的なジョブシャドウイングは、導入しやすく学生の参加もしやすいが、今後の課題としてはジョブシャドウイングの知名度であろう。効能を理解してもらうには、事例が数多く必要で今度は県内でのジョブシャドウイングの普及が望まれる。

《参考》ジョブシャドウイング実施企業一覧

ジョブシャドウイング実施企業	参加学生所属大学名	性別	学年	訪問確定日
(株)美光商会	和洋女子大学	女	3年	2月20日
(株)シルバーとつぷ	千葉経済大学短期大学部	女	1年	2月27日
(株)快美インターナショナル	千葉商科大学	男	2年	2月13日
(株)君津住宅	千葉商科大学	男	3年	2月25日
(株)君津住宅	千葉商科大学	男	3年	2月25日
空港協力事業(株)	敬愛大学	女	3年	2月17日
空港協力事業(株)	イーストウエスト外国語専門学校	男	1年	2月17日
空港協力事業(株)	千葉商科大学	男	3年	2月17日
(株)スカイカーゴビジネス	敬愛大学	男	3年	2月27日